

北九州市「青少年の非行を生まない地域づくり」推進本部
令和7年度「『非行防止』対策」「『立ち直り支援』対策」合同部会

日 時:令和8年3月6日(金) 14:00~15:30

場 所:北九州市生涯学習総合センター 21学習室

参加者

1 非行防止対策部会

北九州市少年補導委員連絡協議会、北九州地区(市)少年補導員連絡協議会
教育委員会少年サポートチーム

2 立ち直り支援対策部会

福岡県協力雇用主会北九州支部、産業経済局雇用・産業人材政策課

3 非行防止対策部会・立ち直り支援対策部会のどちらにも所属

北九州市保護司会連絡協議会

特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルズ北九州支部

福岡県警察本部北九州少年サポートセンター、小倉少年鑑別支所

総務市民局安全・安心推進課、教育委員会生徒指導課

子ども家庭局こども若者成育課

会議の概要

1 北九州市における少年非行概況

子ども家庭局こども若者成育課から、本市の令和7年中の少年非行概況の説明を行った。

2 推進本部事業の進捗

子ども家庭局こども若者成育課から北九州市「青少年の非行を生まない地域づくり」推進本部事業の進捗に関する報告を行った。

3 各機関における取り組みについて

○北九州市少年補導委員連絡協議会

年間を通して下記事業を実施。

・役員会 ・全市一斉夜間非行防止パトロール ・表彰式及び研修会

若年層の地域活動への関心低下・世代交代の遅れが課題となっている。

○北九州地区(市)少年補導員連絡協議会

421名の少年補導員が街頭補導活動等を実施。

高齢化と成り手不足、少年非行の多様化が課題となっている。

健全育成ボランティア大会や地域イベントの実施で活動周知に努めていく。

○北九州市保護司会連絡協議会

6つのブロックで、処遇活動(保護観察、生活環境調整)や犯罪予防活動を実施。
更生保護のイメージカラー(イエロー)を用いた小倉城のライトアップ実施を検討していきたい。

○福岡県協力雇用主会北九州支部

罪を犯した対象者を雇用する民間事業主が約300社登録されている。
雇用実績の伸び悩みが課題となっている。

○特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス北九州支部

10代後半～20代前半女性の深夜徘徊が多い。
また、週末の18歳～20代前半の徘徊・周回も目立つ。
繁華街以外の滞留箇所も多様化。大麻成分等の匂いを感じる事例もある。

○福岡県警察本部北九州少年サポートセンター

少年相談、立ち直り支援、広報啓発、街頭補導を実施。
他のセンターと比較して、学校での薬物乱用教室など広報啓発活動が活発である。
大麻乱用対策、いじめ・暴行の動画拡散、SNS教育が今後の課題として挙げられる。

○小倉少年鑑別支所

市内小中学校で法教育の出前講演を実施。
好評だが、鑑別所への収容者増加でマンパワー不足が懸念されている。

○総務市民局安全・安心推進課

北九州市安心・安全条例に基づき事業を実施。
現在、自転車盗・万引き対策に注力している。
新たな見守り活動(ながら見守り活動、わんにゃんパトロール)を推進している。

○産業経済局雇用・産業人材政策課

令和7年度は9,659人が利用し、1,041人が就職に繋がっている。
LINEを活用した広報で認知度向上に努めている。
次年度は更に若年層向けの伴走支援(資格取得サポート、インターンシップ)を予定。

○教育委員会生徒指導課

非行防止教育・啓発を最大のミッションとし、安全教育・法教育・インターネットの適正利用・初発型非行防止・薬物乱用防止・性の逸脱行動防止の6項目に関する指導を全学校で実施。
コロナ禍以降、SNS普及による問題行動が増加傾向にある。

○教育委員会少年サポートチーム

教員OB2名、警察OB2名の計4名で活動している。
学校からの依頼による支援訪問や、巡回訪問を実施。
「荒れ」の原因が特別な支援を要する子どもへの指導にあるケースが多い。